

8月9日 千代田春闘共闘・千代田原水協 合同で6・9行動宣伝 「核兵器をなくそう！日本は核兵器禁止条約に参加を」と訴える

8月9日、78年前の長崎に原爆が落とされた日だ。私たちは、毎月、6と9の日に核兵器廃絶、戦争反対、改憲反対で宣伝を長年続けている。

今年の8月9日は、神保町交差点で、千代田区春闘共闘と千代田原水協が合同で宣伝と署名行動を行った。

当日は、ゲリラ豪雨が予想されたが、雨雲レーダーで確認すると午後5時から7時は、千代田区で雨雲が切れていたのので、実施することにした。天気予報は当たり、雨は降らなかった。

参加者は、全体で20名。リレートークは6人が行った。

最初は、千代田区春闘共闘の小林さん。「世界はいま、ウクライナでの戦争と核威嚇など核兵器使用の現実の危険が高まる重大な情勢に直面しています。核兵器は、いかなる状況においても、決して使用されてはならず、そのすべてを一刻も早く完全に廃絶すべきです。」と訴えた。

また、「岸田政権が大軍拡と増税で戦争準備を急激に進めていることも大問題で、戦争のリスクを高めるものです。」と岸田政権の大軍拡に反対する。その大軍拡が戦争のリスクを高めるとして、アメリカに追随しないで、憲法を守り、外交で戦争を防ぐ必要があると訴えた。

そのほか、千代田原水協の福山さんや木村さん、神田九条の会の方などが、口々に、「核兵器をなくす以外に人類は守られない、早期になくすべきだ。そのためには、唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器禁止条約に参加し、核兵器をなくす運動の先頭に立つ必要がある。そのために、政府に迫っていこう。戦争のリスクを高める大軍拡に反対していこう」と訴えた。



8月9日 神保町交差点での宣伝



核兵器廃絶を訴える千代田原水協福山さん

ティッシュに入れたチラシ2枚を配布。1枚は、核兵器を世界からなくそうとの訴え、もう1枚は9月27日に開催される千代田平和集会のチラシである。1時間弱で190枚を配った。

日本政府に対して核兵器禁止条約に参加するよう求める署名は11筆集まった。憲法改悪署名は1筆だった。募金は、2000円。そのうち、外国人が3人も署名をしてくれた。今の外国人観光客が多いことの反映だろうか。

暑い中でしたが、立ち止まり、対話になった。その中の一人の青年とは、15分も対話し、署名に応じてくれた。ウーバーの配達員が訴えを聞いていたが、走りさる時に自転

車を募金箱にキュッと寄せてカンパをしてくれた。立ち止まって、原爆の写真を見てくれる人もあった。

外国人が署名してくれたが、今日、8月9日が長崎に原爆が落とされたことを知っていた。そのことは、私たちの核兵器廃絶の運動が世界に広がっていると実感できるのではないかと思う。何より、核兵器禁止条約が国連で発効し、すでに2年以上になるが、批准は68か国、署名は国連加盟国の過半数に迫る92か国になっていることでもわかるのではないか。

通信の発行日は、8月15日、終戦の日、敗戦の日である。二度と戦争を起こしてはならないと改めて思う日でもある。憲法を蔑ろにし、戦争準備を進める岸田政権。戦争のリスクが高まっている。今、止めなければならぬと強く思っている。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)



原爆の写真を見る青年

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

* 千代田区労協通信バックナンバー / http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2020.htm